



ヒューレックス(株)  
代表取締役社長

松橋 隆広 氏

まつはし・たかひろ 昭和38年青森県青森市生まれ。東北学院大学卒業後、61年山一証券㈱入社。平成10年同社自主廃業後、大手人材会社で常務取締役を務め、株式公開を果たす。15年ヒューレックス㈱を設立し、代表取締役に就任。

くらしいうれしくて。

林 私は60歳でこの会社を立ち上げさせていたんですが、自分が必要とする人があるということから始

すね。

松橋 企業の発展イコール  
良い人を採用すること、この  
関係は切っても切れません。  
まさに日本の再生は、宮城、  
東北がどれだけ良くなるかに  
かかっているといつても過言  
ではありません。個々の会社  
が良くなった分、必ず世の中  
は良くなります。ですから、  
林社長にはもっともつと頑張  
っていただきたいと思いま

# 日本の再生は人から始まる

す。我々も東北全域で企業の発展に力を尽くし、努力していきたいと考えています。

**林** いや本当に人だと思っ  
よ。つくづくそう思う。そし  
て、次の若い彼らが新しい選  
択をしてくれば。私は余計  
な口出しはしないようにし  
て、任せる時は、はんこも人  
事権もみんな任せる。それで  
会社が潰れたらしょうがない  
と思うくらいの根性で任せる  
のが良いと思います。

7 仙台經濟界 2011.9-10

企業の「二極化」が顕著に

の倍の数を支援しています。これは東京、大阪に次ぐ成績です。東海地区を抜いて3番目になるなんて、従来では考えられませんでした。それだけ東北では若手が就職できていない状況なのです。

林 当社はヒューレックス

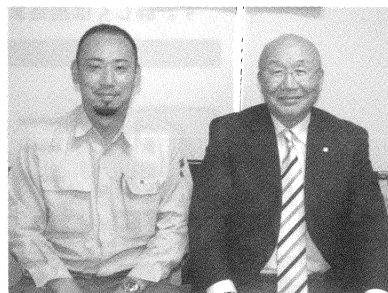
さんから紹介され、今年4人の新卒者を採用しました。産業廃棄物の事業は奥深く、簡単には飲み込めない部分がありますが、私も彼らにハッパかけたり、夢と一緒に語り合ったりして前向きに関わっています。

「二極化」が進んでいます。震災後約20000社の会社  
が休業状態にあり、失業者も  
約13万人に上りますが、逆に、  
今こそ良い人材を獲得できる  
絶好のチャンスです。最近、  
全国に散らばっている東北出  
身者から、地元に戻りたいと

めた会社なんですよ。だから、他社から見て良い会社と呼ばれるような会社にみんなできていきたい。

——今後の事業展開、展望については。

林 宮城県多賀城市は今、63万トのがれき処理を任せ



林昭兵社長と鈴木庸造氏(左)

ですから、引き続きがれき処理を通じて社会貢献していけたらと思っています。そして、これからも、社員一人一人が時代を乗り切れるような発想でつくりたいものをつくり、どんどん進化していつてほしい。進化していくことにこそ企業の存在価値があるのですから。

# 対談 宮城の企業は 『人』で勝負！

## 第1回 株東洋環境開発

建築物の解体から再資源化までトータルな作業が強みの(株)東洋環境開発(仙台市)。高い技術とスピディーな対応で東日本大震災の復興支援に当たっている。その背景には、優秀な人材の積極的な起用があった。林昭兵社長と人材紹介会社ヒューレックス(株)(仙台市)の松橋隆広社長が、宮城の企業を支える「人財」について対談した。

——林社長と松橋社長の出  
会いは。

松橋 4年前、林社長が所属する仙台商工会議所工業部会で講演させていた、たいたのがご縁の始まりです。その後、林社長から事業への想い、地域貢献に対する考えなどさまざまな話をお聞きし、「この社長は素晴らしい。良い社員がいれば、どんどん伸びていくだろう」と感じました。

人材を集める経営者の熱い思い

林 ちようど公的な仕事を受注できるようになり、1級土木施工管理技士を採用する必要を感じていた時期でした。最初、ハローワークに依頼したのですが、なかなか私の目にかなう人物に出会えななくて。そこで、私がどういう人を求めているのか、その想いをきちんとくみ取って探してくれそうだということで、

松橋 就職は「結婚」と同じで、双方が納得しないと成りません。林社長の想いがしっかりと伝わったからこそ口説き落とせたのです。その想い自体が素晴らしいことと林社長自身に運とツキがあるから良い人材が集まるんですね。

き、本当に良い「ご縁」を。ユレーックスさんからいただいたと思っていきます。鈴木君は焼却炉の立案、製作、完成まで関わった経験を持っています。仙台市は、今回の震災によって発生したがれきの処理を3つの焼却炉で焼却処分する方針を示しました。当社は産業廃棄物の処理に関して

3年以内の新卒者を対象とする就労支援事業を国や県から委託されて実施してきました。国からの委託事業については、昨年度は東北の地元企業に就業体験として210人を紹介、そのうち102人の正規雇用を創出しています。これは東北地区での実績の約8割を占めますが、今年はそ



(株)東洋環境開発  
代表取締役

林 昭兵 氏

はやし・しょうへい 昭和17年仙台市生まれ。日本大学卒業後、8年間競輪選手として活躍。51年向井建設㈱東北支店に入社し、数多くの建築事業を経験。60歳定年時、㈱東洋環境開発を設立、代表取締役役に就任。